

表5 簿記会計I

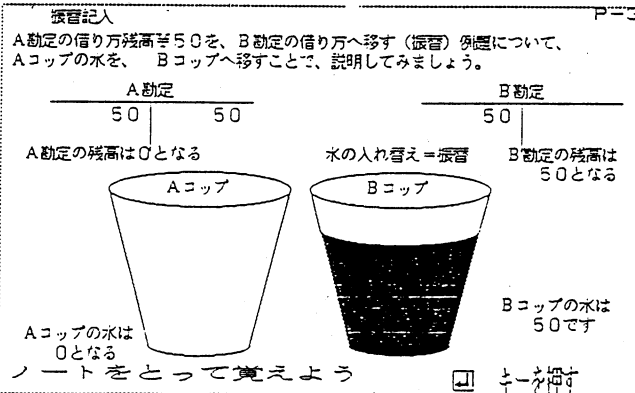


表6 総合実践

B. 見積依頼書の作成 (指示に従って、キーボードに入力しなさい。)

KEY-IN システム

東京 商店

買 手

見積依頼書

大阪 商店

売 手

見積依頼書

見 積 書

見 積 依 頼 書 NO.

昭和 年 月 日

**

見積期限: 昭和 年 月 日
下記についてお見積もりの上、期限までに**をご返送下さい。

発注時期: 運送方法:
発注時期: 運送方法:
通関手続: 通関手続:
通関手続: 通関手続:

品 名	数 量	備 考

担当

また、総合実践科目の基礎的内容を踏まえた次のソフトを開発した。

- ① 簡易なビジネスゲーム
- ② 商業通信文の作成システム
- ③ 文書作成システム
- ④ 会計処理システム
- ⑤ オートフローチャート

次の表5、表6は、簿記会計Iと総合実践の学習ソフトのうち、ごく一部の画面の表示例である。

勘定振替の解説をする。画面の大きなコップにより、強く印象づけはかる工夫をしている。

四、研究授業の成果

開発したコースウェアで研究授業を実施した。その結果、次のような学習効果のあることが認められた。

- (1) 学習への興味、関心が高まったこと。

帳票に記入する直前の「見積依頼書」の書式である。

パソコンを授業に利用することに対して、事前の調査では、約半数の生徒が「操作がうまくできるか」と不安をもっていた。研究授業後の調査では、9割の生徒が、「パソコンはやさしかった」または「難かしいとは言えない」と回答した。パソコンの初心者でもパソコン操作には、心配ないことがわかった。パソコンを使っただの授業でも「今日の授業は楽しかった」、「おもしろかった」、「先生に教えてもらった」とは違った感じであった」という肯定的な感想を聞くことができた。

「もつとパソコンを使って授業をしてほしい」という要望まで出てきた。

このように、授業にパソコンを使用することで、生徒に学習に対する興味と関心を深めさせ、学習意欲を高めることができた。

(2) 学習の自主化、主体化

パソコン教材による授業では、自身がキーボードのキーを押してパソコンに应答しないと、次の学習ステップへ進めない。学習を進行させるのは生徒自らの意志と行動なのである。従来の一斉授業は、教師主導型であるがパソコンを利用したCAIの授業では生徒の自主的、主体的な行動によって学習が進められていく。そのため、生徒の自ら学ぼうとする自主的、主体的学習能力が高められる。

(3) 学習の個別化

ディスプレイ画面に出題される問題の解答をキーインすると、パソコンは

直ちにその正誤を判定し、学習者にその結果を返してくる。また、学習した結果を数値化あるいはグラフ化して学習者に知らせる。学習者の応答によって、個人にあったKR情報を出力することもできる。パソコンのもつ情報処理機能により、個別化された学習情報を生徒に与えることができる。

研究授業でパソコンに向かって学習した生徒は、初めてであるというもの珍らしさもあつて、次第にその学習に引き込まれ、真剣な学習態度になった。

五、おわりに

パソコンを教具として利用し、授業の内容をよりわかりやすくする。生徒一人一人に適するよう学習を個別化する。「学習意欲を高め、基礎、基本の理解を深めるための情報処理教育の推進」とのテーマで、パソコンを使ったCAIの研究を行ってきた。一応の成果を得たとは言え、CAIとしては、未熟で初歩的なものであり、十分な学習効果を期待できるところまでには至っていない。これでやっとパソコン利用の出発点に立ったと感じている。

今後とも諸先生方の御助言を得て、より一層効果ある「情報処理教育」に取り組んでいきたいと念願している。